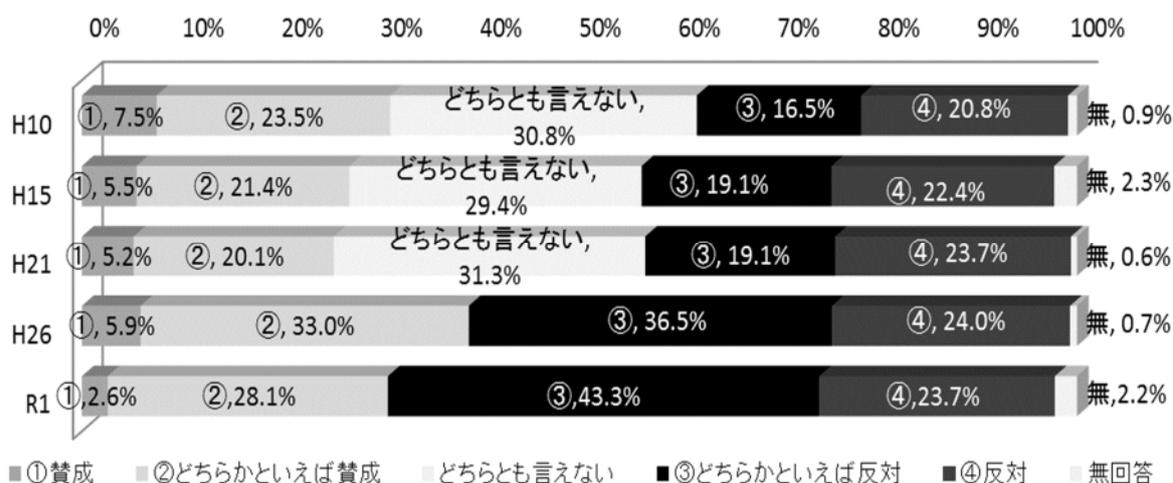


2. 家庭生活等について

問2 「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を決めるような考え方について、あなたはどのように思いますか？

〔 ① 賛成 ② どちらかといえば賛成 ③ どちらかといえば反対 ④ 反対 〕

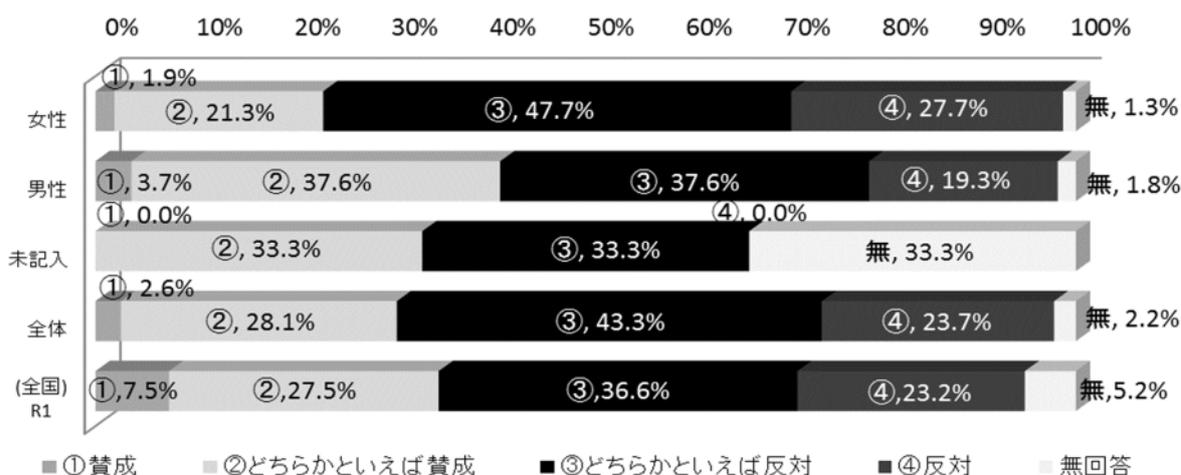
【全体(経年変化)】



※H26からは選択肢から「どちらとも言えない」を削除

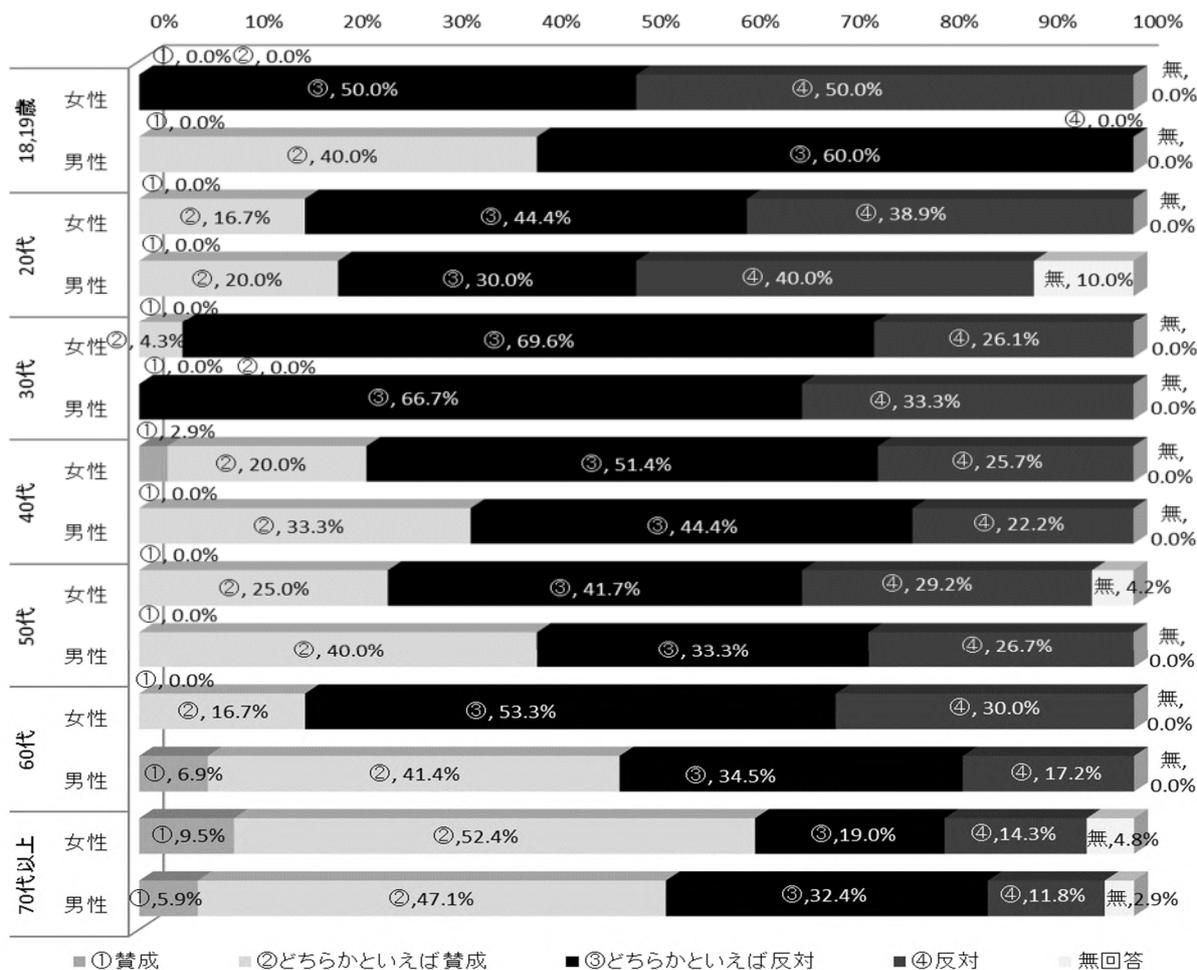
- ・ 「賛成」(①と②の合計)と回答した人の割合は、前回調査の 38.9%から減少し、今回は 30.7%
- ・ 「反対」(③と④の合計)と回答した人の割合は、前回調査の 60.5%から増加し、今回は 67.0%
- ・ 性別による役割分担について、3割が賛成し、約7割が反対している

【全体(性別比・全国比)(R1)】



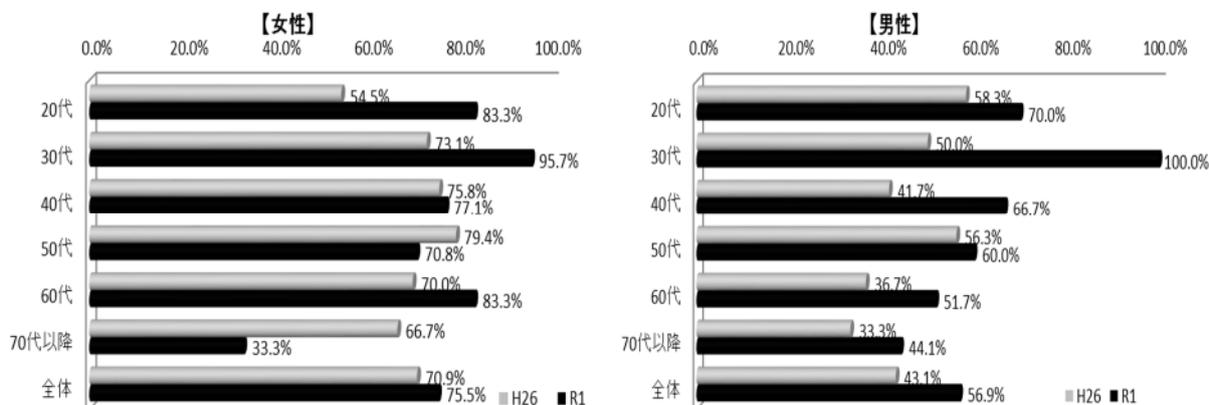
- ・ 「賛成」(①と②の合計)と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性 23.2%に対し男性は 41.3%
- ・ 「反対」(③と④の合計)と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性 56.9%に対し女性は 75.4%
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民は「賛成」と回答した人の割合が低く、「反対」は高い

【性別・年代別(R1)】



- ・ 60代以下のすべての世代で賛成する人より反対する人の割合が高い
- ・ 60代は、女性は反対する人が多いが、男性は賛成する人が多く、意識の差がある
- ・ 「賛成」(①と②の合計)と回答した人の割合が最も高いのは、70代女性で61.9%
- ・ 「反対」(③と④の合計)と回答した人の割合が最も高いのは 18、19 歳女性と 30 代男性で 100%、次いで 30 代女性で 95.7%

【「反対」「どちらかといえば反対」と回答した割合の前回調査(H26)比較】

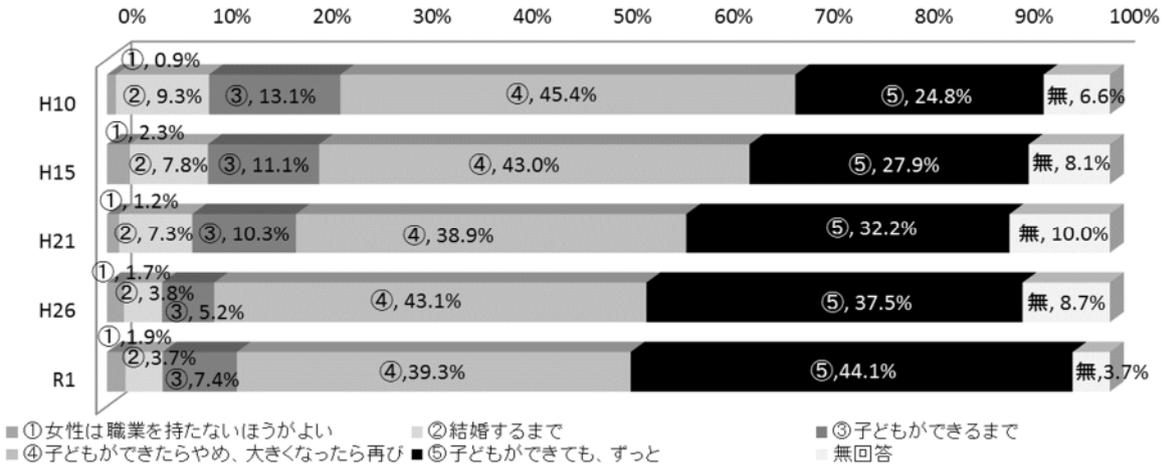


- ・ ほとんどの世代で増加する一方、70代女性は大きく減少
- ・ 男女とも 20、30 代で大きく増加

問3 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどのように考えますか？

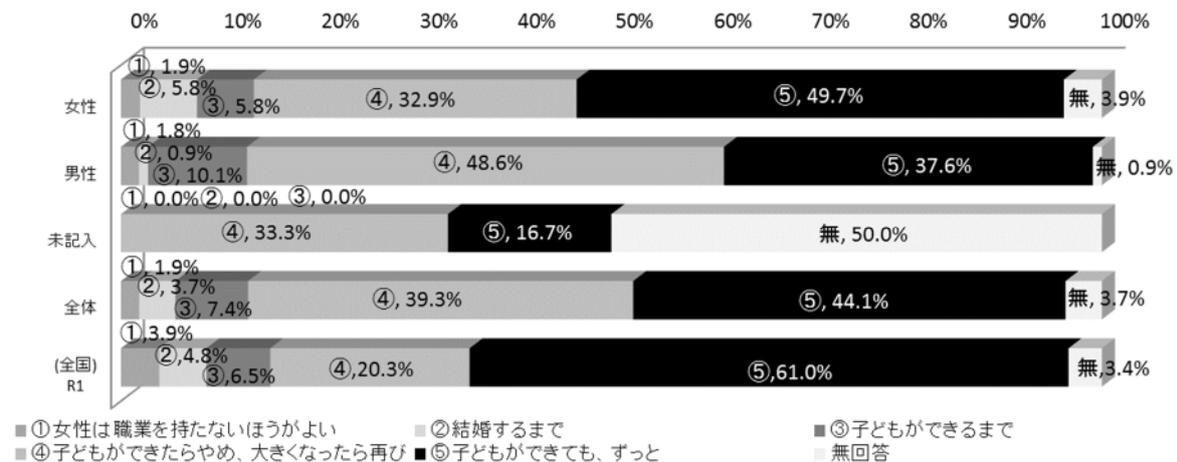
- ① 女性は職業を持たないほうがよい
- ② 結婚するまでは職業を持ったほうがよい
- ③ 子どもができるまでは職業を持ったほうがよい
- ④ 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい
- ⑤ 子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい

【全体(経年変化)】



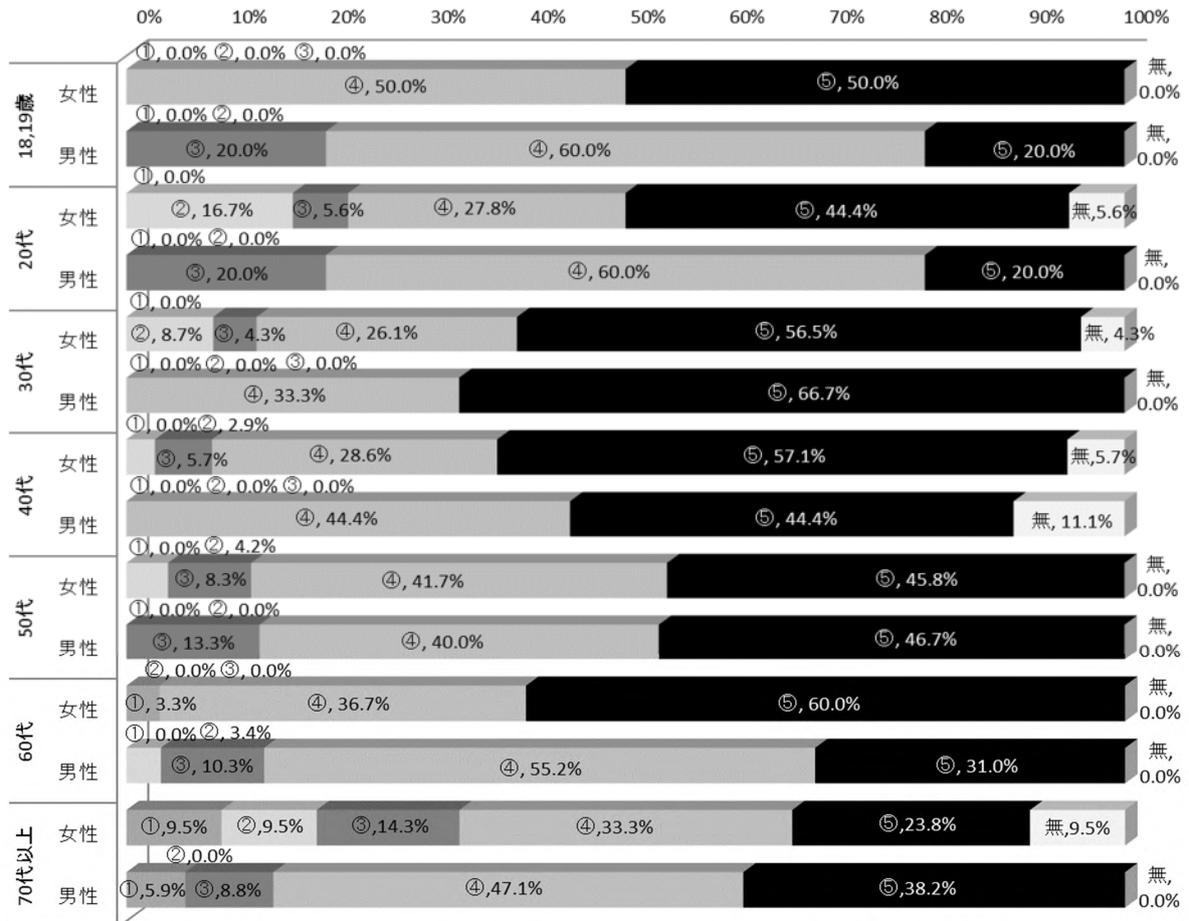
- ・ 「⑤子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」と回答した人の割合は、平成10年の24.8%から継続的に増加し、今回は44.1%
- ・ 調査開始時から継続して「④子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」が一番多かったが、今回は「⑤子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」が一番多く、初めて「④子どもができたならやめ、大きくなったら再び」を上回った

【全体(性別比・全国比)(R1)】



- ・ 「⑤子どもができて、ずっと職業を続けるほうがよい」と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性37.6%に対し女性は49.7%
- ・ 「④子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性32.9%に対し男性は48.6%
- ・ 全国平均と比較すると、石狩市民は「⑤子どもができて、ずっと」と回答した人の割合が低く、「④子どもができたならやめ、大きくなったら再び」は高い

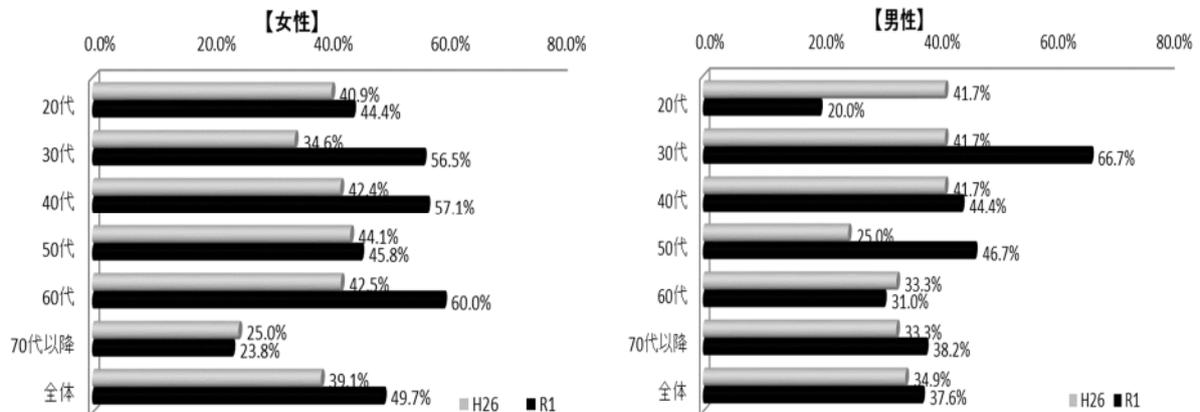
【性別・年代別(R1)】



- ① 女性は職業を持たないほうがよい
- ② 結婚するまで
- ③ 子どもができるまで
- ④ 子どもができたらやめ、大きくなったら再び
- ⑤ 子どもができても、ずっと
- 無回答

- ・ 多くの世代で「⑤子どもができても、ずっと職業を続けるほうがよい」と回答した人の割合が高い
- ・ 18、19歳男性、20、60代男性、70代男女は「⑤子どもができても、ずっと」と考える人より、「④子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つほうがよい」と考える人が多い
- ・ 子育て世代(男女20～40代)のうち、20代男性以外は「⑤子どもができても、ずっと」と回答した人の割合が4割以上

【「子どもができても、ずっと職業を続けるほうがよい」と回答した割合の前回調査(H26)比較】

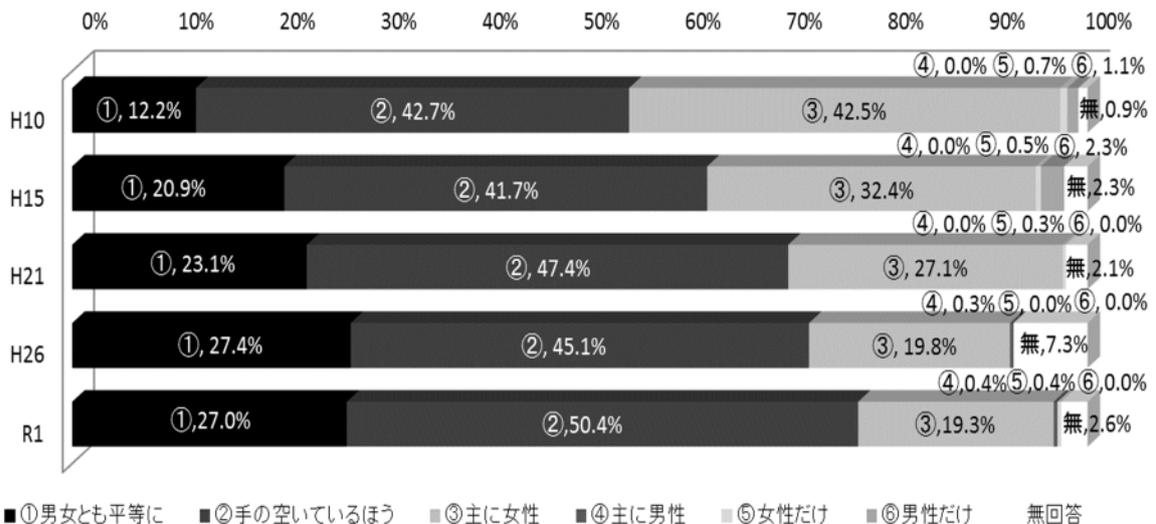


- ・ 多くの世代で増加する一方、20代男性は大きく減少
- ・ 女性は30、40、60代で、男性は30、50代で大きく増加

問4 家事や育児の役割分担について、あなたはどのように考えますか？

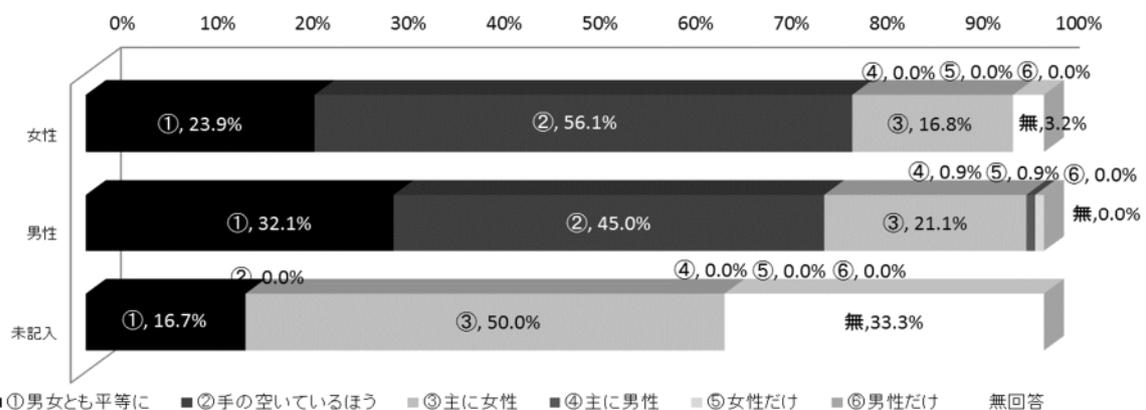
- ① 男女とも平等にするのがよい
- ② 手の空いているほうがやればよい
- ③ 主に女性がやり、男性は手伝う程度でよい
- ④ 主に男性がやり、女性は手伝う程度でよい
- ⑤ 女性だけがやるべき
- ⑥ 男性だけがやるべき

【全体(経年変化)】



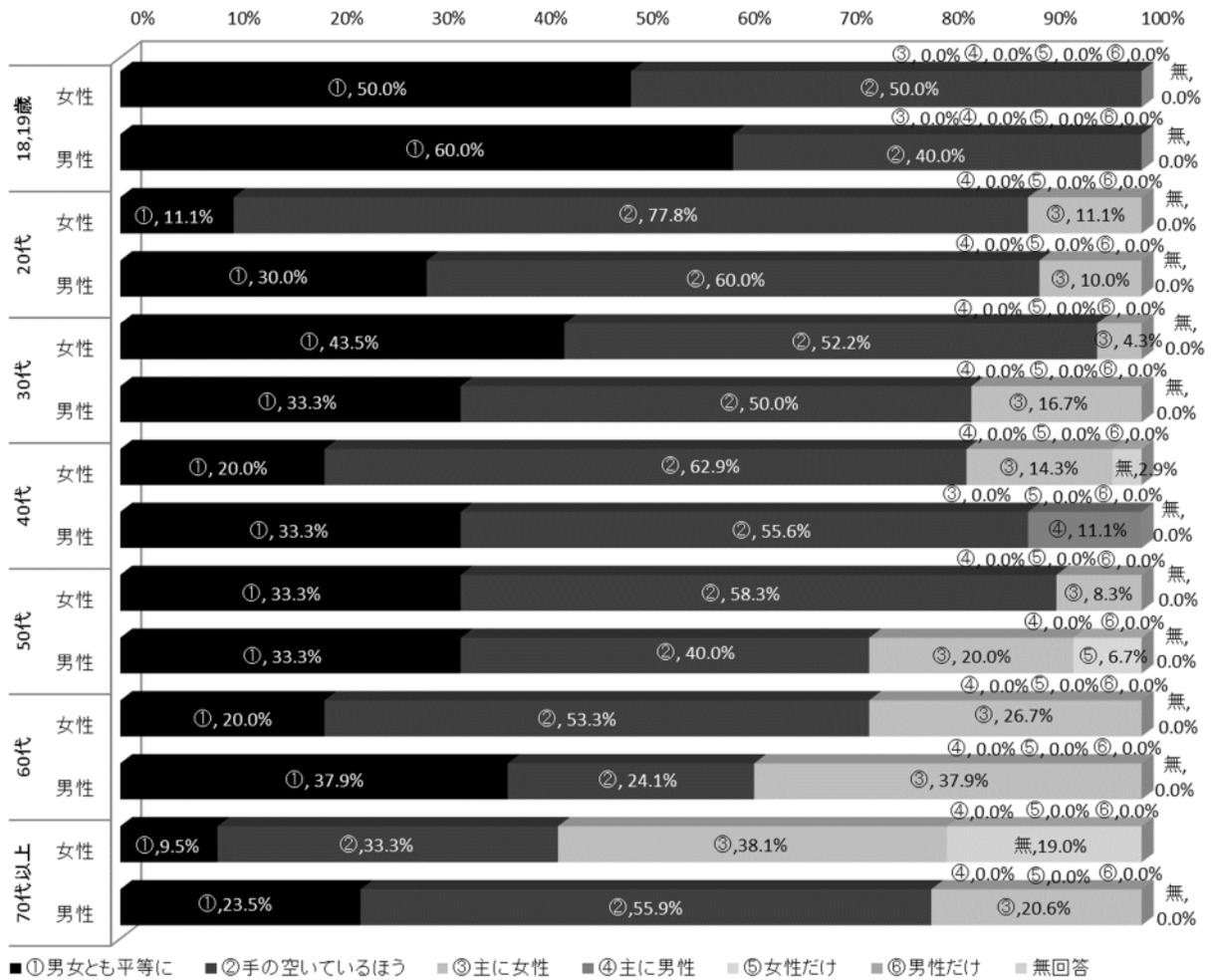
- ・ 「①男女とも平等にするのがよい」と回答した人の割合は、平成10年の調査開始時から継続的に増加していたが、今回は微減し27.0%
- ・ 一番多いのは、初回調査から継続して「②手の空いているほうがやればよい」で、今回は50.4%
- ・ 初回調査では「②手の空いているほう」同様に多かった「③主に女性がやり、男性は手伝う程度でよい」と回答した人の割合は、42.5%から継続的に減少し、今回は19.3%

【全体(性別比)(R1)】



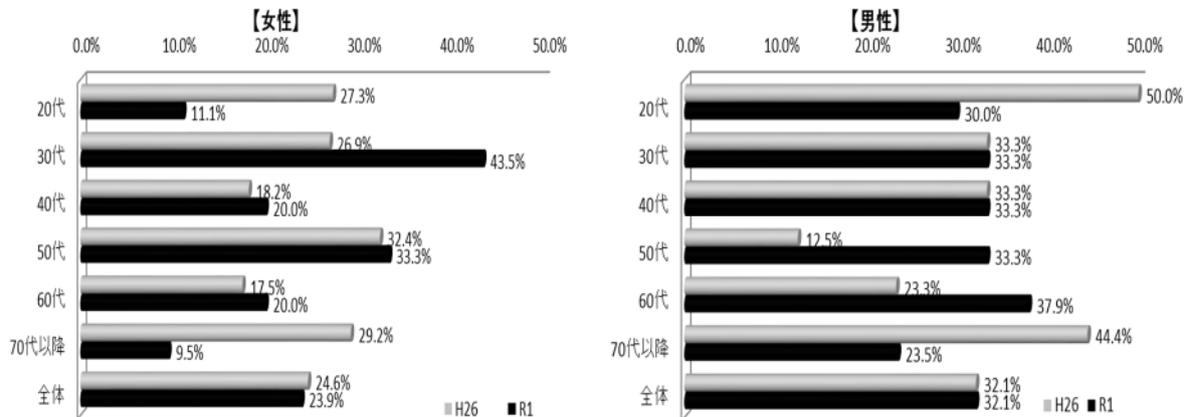
- ・ 「①男女とも平等にするのがよい」と回答した人の割合は、女性より男性が高く、女性23.9%に対し男性は32.1%
- ・ 「②手の空いているほうがやればよい」と回答した人の割合は、男性より女性が高く、男性45.0%に対し女性は56.1%

【性別・年代別(R1)】



- 多くの世代で「②手の空いているほうがやればよい」と回答した人の割合が高く、最も高いのは20代女性で77.8%
- 18、19歳は男女とも「①男女とも平等にするのがよい」と回答した人の割合が高く、5割以上
- 60代以上の世代では「③主に女性がやり、男性は手伝う程度でよい」と回答した人の割合が高く、特に60代男性と70代女性は約4割が回答

【「男女とも平等にするのがよい」と回答した割合の前回調査(H26)比較】



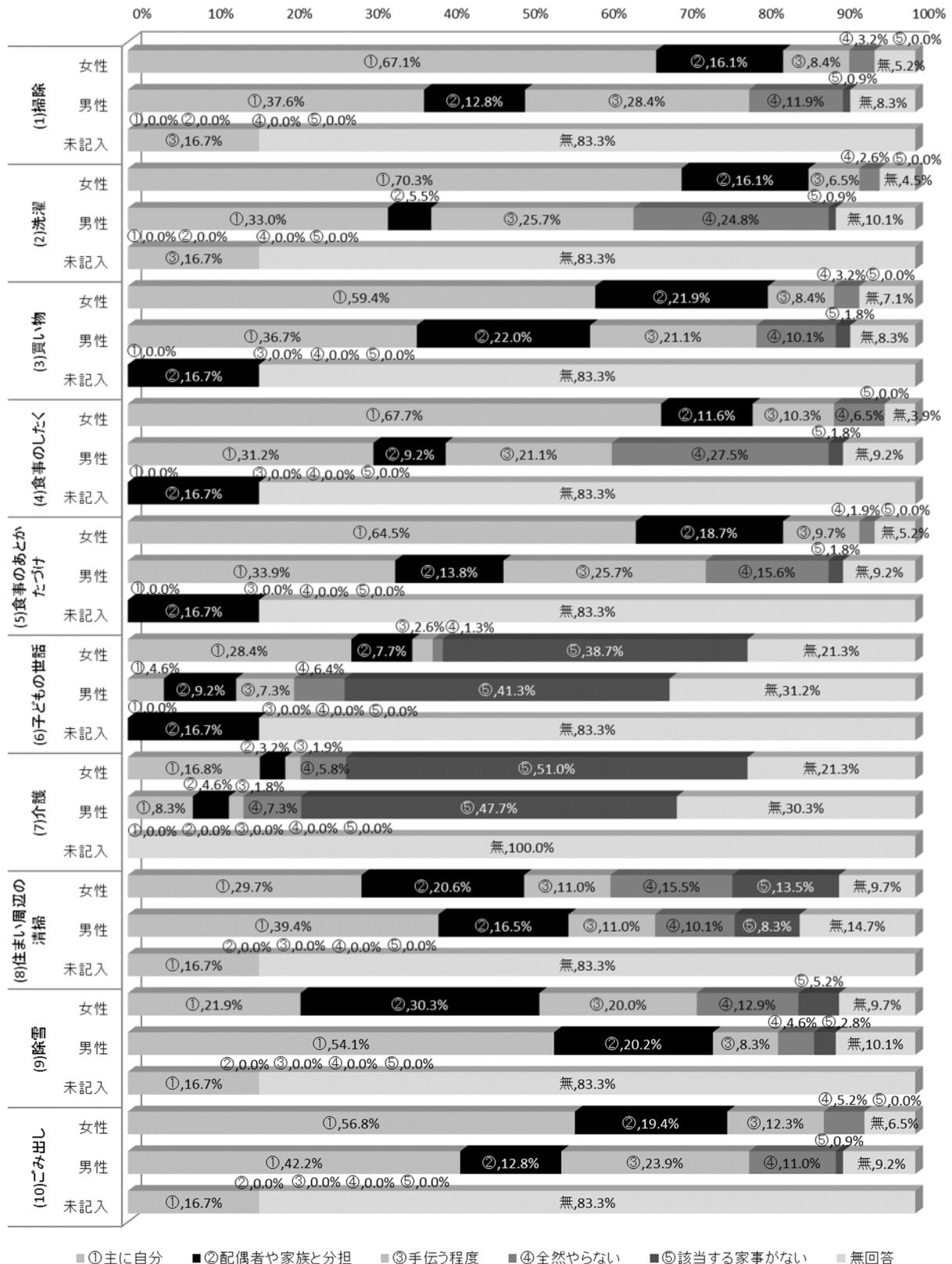
- 多くの世代で増加し、特に30代女性、50、60代男性で大きく増加
- 一方、男女とも20代と70代で大きく減少

問5 あなたは実際にどのくらい家事をしていますか？

- (1) 掃除 (2) 洗濯 (3) 日用品の買い物 (4) 食事のしたく
 (5) 食事のあとかたづけ (6) 子どもの世話 (7) 高齢者などの介護
 (8) 住まい周辺の清掃 (9) 住まい周辺の除雪 (10) ごみ出しや分別

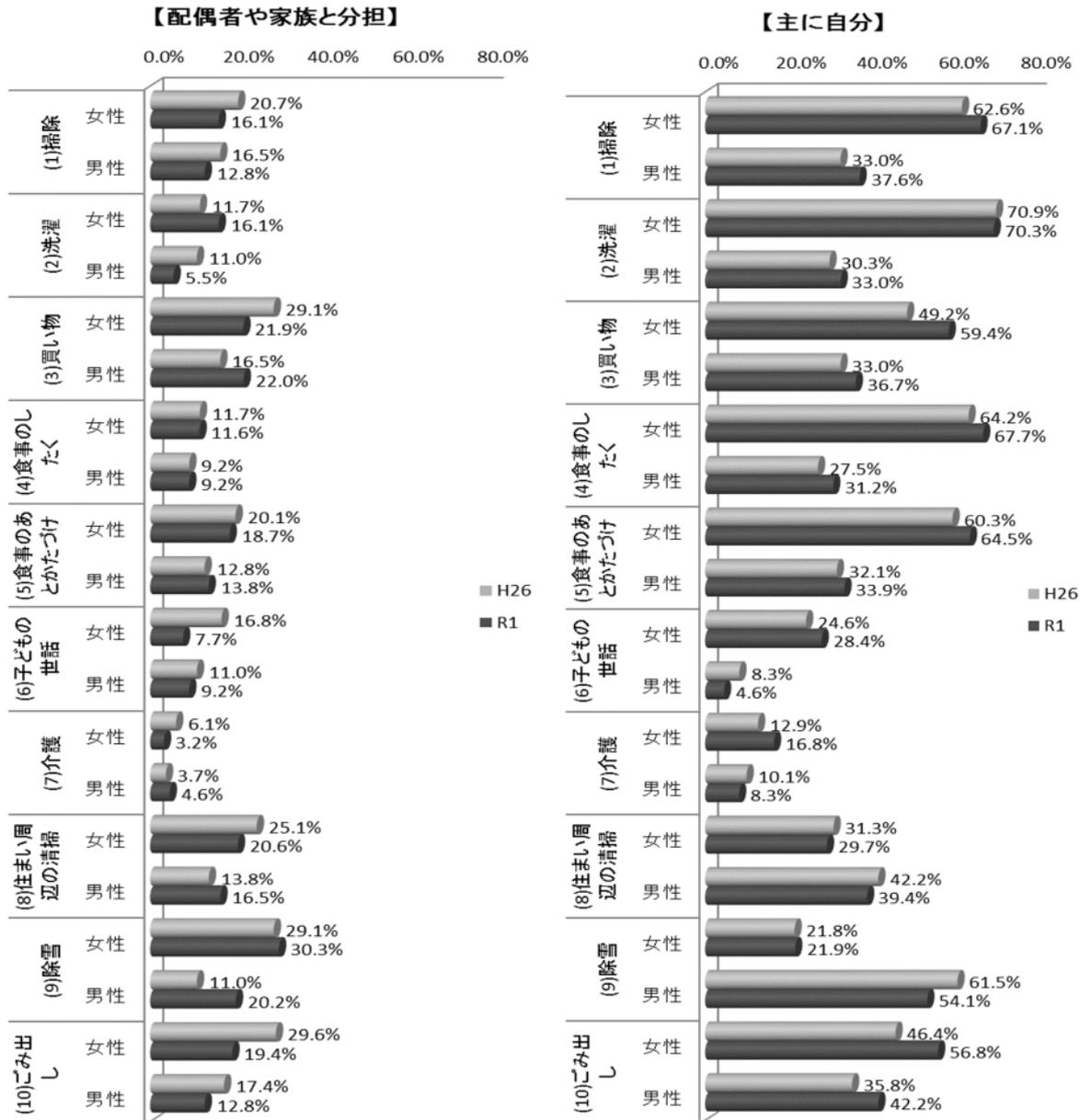
- ① 主に自分 ② 配偶者や家族と分担 ③ 手伝う程度 ④ 全然やらない
 ⑤ 該当する家事がない

【全体(R1)】



- 女性の「②配偶者や家族と分担」と回答した人の割合が最も高い家事は「除雪」で30.3%、次いで「買い物」で21.9%、「住まい周辺の清掃」で20.6%
- 男性の「②配偶者や家族と分担」と回答した人の割合が高い家事は「買い物」で22.0%
- 女性の「①主に自分」と回答した人の割合が最も高い家事は「洗濯」で70.3%、次いで「食事のしたく」で67.7%、「掃除」で67.1%
- 男性の「①主に自分」と回答した人の割合が最も高い家事は「除雪」で54.1%、次いで「ごみ出し」で42.1%

【前回調査(H26)比較】



- 女性は、「①主に自分」と回答した人の割合は増加傾向（「洗濯」「住まい周辺の清掃」以外はすべて増加）で、「②配偶者や家族と分担」と回答した人の割合は減少傾向（「洗濯」「除雪」以外はすべて減少）
- 男性は、「①主に自分」「②配偶者や家族と分担」と回答した人の割合はともに若干の増加傾向